

# 商業地 新幹線効果続く

石川県宅建取引業協など

## 初の不動産市況DI調査

石川県宅建取引業協会と県不動産鑑定士協会は27日、県不動産市況DI調査(基準日・4月1日)の結果を発表した。商業地の

地価動向の実感値はプラス23・6で、北陸新幹線の開業効果が持続しており、金沢を中心に地価上昇を感じる声が多かった。

調査は地域の不動産取引市場の動向を、一般消費者に分かりやすく伝える目的で初めて実施された。4月1日を基準日に、過去半年間の推移の実感と半年後の動向予測をアンケートで調べた。

住宅地の地価動向の実感値はプラス0・5で、予測値は住宅地がマイナス9・2、商業地がプラス2・3といずれも前期から悪化を見込んだ。不動産取引市場

の動向の実感値は土地・新築戸建てがプラス3・9と活況だった一方、マンションがマイナス21・3、中古住宅がマイナス0・6と取引の減少傾向が示された。県宅建建物取引業協会の会員966社にアンケートを送り、212の有効回答を得た。両協会は今後、4、10月の年2回、調査を行う。

